

イオン電極用一次標準血清

JCCRM111-5

取扱説明書

特徴

本標準血清は、液間電位に起因する誤差を消去できるように、pH 及び重碳酸イオン量を健常人検体とほぼ同等となるように調節してあるほか、容積置換に基づく誤差要因を最小とするために水分量を健常人検体と同等となるように調節してあります。又、アンプル入りですので pH 及び重碳酸イオン量の均質性、安定性が優れています。




Na 及び K の認証値については基準分析法(definitive method)によって測定しております。また、Cl の認証値については2種類の実用基準分析法によって測定すると共に、基準分析法でも確認しています。

使用方法

冷凍庫からアンプルを取り出し、室温で約1時間かけて解凍します。アンプルの上部を持ち転倒してアンプルの先まで血清を入れて下さい。必ず20回以上転倒混和して下さい。

アンプルの中の血清を指で軽くはじくようにして完全に底に戻して下さい。

アンプルの上部を持ち、左右に30回以上振り十分に攪拌して下さい。(泡立っても測定値に影響はありません。)

上記、, , , の操作をもう一度繰り返して、アンプルの中の血清を完全に均一にして下さい。

アンプルを開封する際は必ず、厚手袋を着用して下さい。

アンプルの白丸印を手前に向け、反対側に押すようにして折って下さい。無理な力を加えると破損して危険なので十分注意して下さい。

開封後はすみやかにアンプル内の血清をマイクロピペット等を用いてサンプルカップに移して測定して下さい。



使用上の注意

- 1)開封後は長時間放置すると正しい値が得られません。一度開封したアンプルを保存して再び使用することは出来ません。
- 2)アンプルは無理な力を加えますと割れて危険ですので、無理な力を加えないようにするとともに、万一割れてもケガをしないように、必ず厚手袋を着用して下さい。また、開封したアンプルの破断面は危険ですので、取り扱いに十分注意して下さい。
- 3)血清が目、口、傷口等に入らないように十分注意して取り扱って下さい。
- 4)本イオン電極用一次標準血清の原材料は、HBs抗原、HCV抗体及びHIV抗体の検査を行い陰性の結果を得ていますが、感染性を完全に否定できません。使用に際しては感染の恐れがあるものとして厚手袋を着用するなど患者検体と同様に十分注意を払って取り扱って下さい。

保存方法及び有効期限

イオン電極用一次標準血清は、-70℃以下の温度で保存して下さい。アンプルを一度開封したものを保存して再び使用する事はできません。

有効期限は以下の通りです。

有効期限 -70℃ : 出荷日より9カ月

注) -20℃ から -40℃ で冷凍保管した場合の有効期限は、出荷日より3カ月です。

出荷日

仕様

形態：凍結品(ガラスアンプル入)

レベル：JCCRM111-5L(低濃度)	1.5ml, 1本
JCCRM111-5M(中濃度)	1.5ml, 1本
JCCRM111-5H(高濃度)	1.5ml, 1本